

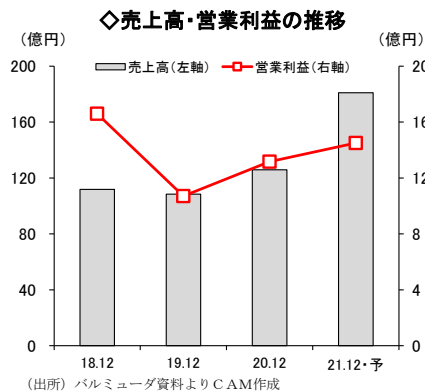
企業ニュース バルミューダ

(東証マザーズ : 6612) <https://corp.balmuda.com>

作成者:村上大志

高い機能とデザイン性を有する高級家電メーカー

2003年設立。家電製品の企画から設計、開発、国内外での販売を手掛け、生産は外部に委託するファブレスメーカー。代表的な製品は空調関連の扇風機「GreenFan」シリーズで、累計50万台以上を販売した。また、2015年にキッチン関連製品第1弾として販売されたスチームトースター「BALMUDA The Toaster」は、累計で120万台以上を販売しヒット商品となった。そのほか、デスクライトやランタン、ワイヤレススピーカーなども手掛けている。5月に携帯端末事業への参入を発表し、11月以降に5Gスマートフォンを発売予定。製造パートナーは京セラ(6971)で、国内通信事業者としてはSB(9434)のみでの取り扱いとなる予定。



販売は堅調、携帯端末事業の業績貢献に期待

21.12期・第2四半期累計(1-6月)の連結業績は売上高が77億9,700万円、営業利益が7億2,400万円。20.12期・第2四半期累計(1-6月)の連結財務諸表を作成していないため、対前年同期比の記載はなし。国内はスチームトースターやオープンレンジなどの販売が高水準で推移したほか、扇風機の販売が好調だった。海外は輸出環境が戻りつつある韓国が復調しており、クリーナーやワイヤレススピーカーの販売が拡大した。

21.12期の会社計画は売上高が181億円、前期比44%増、営業利益が14億5,000万円、同10%増。巣ごもりによる家電需要は落ち着きつつあるが、国内外ともに販売は堅調に推移している。また、TVCMなどPR戦略が奏功しており、ブランド認知度は向上している模様。新ブランドとして「BALMUDA Technologies」の立ち上げを発表した。同ブランドでは、ITやAV機器などの製品とそれらに関わるアプリケーションやサービスの展開を予定している。第1弾として11月にスマートフォンの発売を予定しており、業績への貢献が見込まれる。また、東京の青山に初の旗艦店をオープン予定で、さらなるブランド認知度の向上が期待できよう。

[株価動向・投資判断]

国内外の販売が堅調なことに加え、携帯端末事業の業績貢献が見込まれる。高い機能とデザイン性を売りにコモディティー化した家電市場での事業規模の拡大に期待したい。

<6612 バルミューダ 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
19.12	10,849 (▲3)	1,071 (▲35)	1,047 (▲36)	632 (—)	97.4	0.00
20.12	12,587 (▲16)	1,317 (▲23)	1,252 (▲20)	834 (▲32)	127.3	0.00
21.12 予	18,100 (▲44)	1,450 (▲10)	1,435 (▲15)	931 (▲12)	113.2	0.00



株価(2021/8/13)	5,780 円
年初来高値(高値日)	10,610 円(21/1/26)
同 安値(安値日)	4,555 円(21/1/5)
予想PER(21.12予)	51.1 倍
1株株主資本(PBR算出用)	681.9 円
PBR	8.48 倍
予想配当利回り	0.00 %
(1株当たり配当金年0.00円)	
ROE(20.12)	25.7 %
発行済み株式数	831 万株